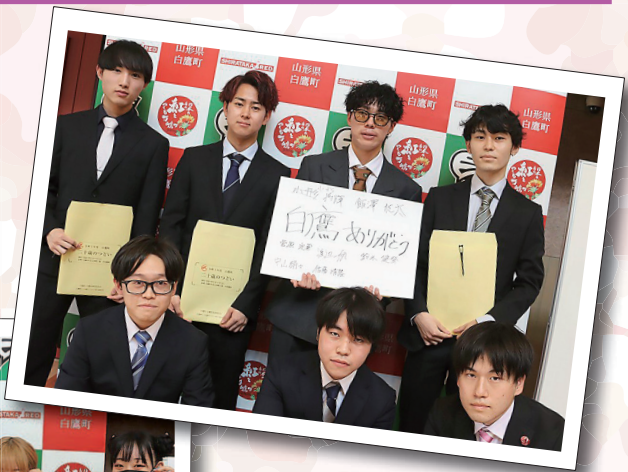




二十歳を迎えた皆さんが生まれた年
(平成14年度)の主なできごと

■白鷹町のできごと	
平成14年	
4月	荒砥駅前の再整備に伴う荒砥駅お別れ会が開催 国道287号 広野バイパスが開通
8月	「アジア国際音楽祭 inしらたか」が開催 成人式がパワーセンター白鷹で開催され、新たに231人が成人を迎える
12月	農村アメニティ・コンクールで農林水産大臣賞 最優秀賞を受賞
■世の中のできごと	
平成14年	
5月	サッカーワールドカップ 日韓大会が開幕
8月	多摩川に「タマちゃん」出現
9月	史上初の日朝首脳会談が開催
10月	田中氏、小柴氏がノーベル賞受賞 北朝鮮拉致被害者が帰国
平成15年	
3月	イラク戦争開戦 「千と千尋の神隠し」米アカデミー賞を受賞

二十歳になった今



感謝を伝えたい





令和5年度白鷹町二十歳のつどい

—新たな門出晴れやかに—

8 月15日（火）、令和5年度白鷹町二十歳のつどいが町中央公民館で行われ、二十歳を迎えた人たちが、次の時代に向け、新たな一歩を踏み出しました。

今年、白鷹町で二十歳を迎えたのは、平成14年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた118人で、その内80人が二十歳のつどいに参加しました。

式典で佐藤町長は、「二十歳を迎えた皆さんを心からお祝いし、社会の一員として果敢に一歩を踏み出すことを期待しながら、輝かしい前途を応援する。」と式辞を述べ、出席者を代表し樋口凱さん（実行委員長）が「若人として常に学ぶ姿勢を忘れず、郷土の発展に全力を尽くす。成人したことを自覚し、社会人として立派に生きていくことを誓う。」と宣誓しました。

式典終了後には、中学校卒業時のクラスに分かれての記念撮影を行い、仲間たち、恩師の先生との久しぶりの再会を喜び、互いの近況を報告し合うなど、和やかな雰囲気包まれていました。



町より記念品の贈呈が行われる



二十歳の宣誓を行う樋口さん



お世話になった恩師の先生方へ花束の贈呈